

平成 30年 10 月 24日

(あて先) 一宮市長

<申請者>

所在地 愛知県一宮市木曾川町黒田 11 の通り 84-1

団体名 一宮 AAE ドッグスクラブ

代表者 職・氏名 会長 檜垣 史

### 一宮市市民活動支援金交付申請書

一宮市市民活動支援金の交付を受けたいので、一宮市市民が選ぶ市民活動に対する支援に関する条例第5条の規定により、下記のとおり申請します。

#### 記

1 事業の名称	動物介在教育・動物介在活動		
2 事業の分野  〔主たる分野を一つ 選択し、○で囲んで ください。〕	<input checked="" type="radio"/> 保健・医療・福祉 <input type="radio"/> 観光の振興 <input type="radio"/> 環境の保全 <input type="radio"/> 人権・平和 <input type="radio"/> 子どもの健全育成 <input type="radio"/> 経済活動 <input type="radio"/> NPO支援	<input type="radio"/> 社会教育 <input type="radio"/> 農山漁村・中山間地域振興 <input type="radio"/> 災害救援 <input type="radio"/> 国際協力 <input type="radio"/> 情報化社会 <input type="radio"/> 職業能力・雇用機会 <input type="radio"/> その他( )	<input type="radio"/> まちづくり <input type="radio"/> 文化・芸術・スポーツ <input type="radio"/> 地域安全 <input type="radio"/> 男女共同参画 <input type="radio"/> 科学技術 <input type="radio"/> 消費者の保護
3 支援金交付申請額	157266 円		

(算出基礎)

事業に要する経費 (a)	235900 円
事業に要する経費のうち対象となる経費 (b)	235900 円
当該事業によって得られる収入 (c)	0 円
支援金交付申請額※ 上限: 「(b) × 2 / 3」または 「(a) - (c)」のいずれか高くない方	157266 円

※ 1 円未満切捨て

#### 4 添付書類

- (1) 一宮市市民活動支援に係る団体調書 (様式2)
- (2) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る計画書 (様式3)
- (3) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る収支予算書 (様式4)
- (4) 団体の規約その他これに類するもの



備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4 (片面印刷) とする。

## 一宮市市民活動支援に係る団体調書

団 体 名	一宮AAEドッグスクラブ		
市内事務所の所在地	〒493-0001 一宮市木曾川町黒田11の通り84-1		
代表者職・氏名	会長 ・ 檜垣 史		
設 立 年 月	2011年 11月	構成員の人数	19人
U R L	<a href="https://www.c-sqr.net/c/138aaedogsclub/">https://www.c-sqr.net/c/138aaedogsclub/</a>		
連 絡 先	(担当者氏名) 檜垣 史		
※この申請に関する 問合せに対応できる方	電 話	050-5539-1380	F A X 0586-86-0268
	E-mail	ichinomiyaeee@yahoo.co.jp	
団 体 の 目 的	動物介在教育活動において、犬を介して命の尊さを学び、互いの違いに興味を持ち、他者・異文化を受け入れ、共生できる心を育む事を目的としています。 動物介在活動においては、犬とのふれあい、ゲーム等を介して安らぎと喜びを感じて頂き、心身の健康増進、QOLの向上にお役立致します。		
主 な 事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 動物介在教育</li> <li>● 動物介在活動</li> <li>● 訪問活動動物の適性評価、認定、教育</li> <li>● 団体ホームページの運営</li> </ul>		
主 な 活 動 の 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童を対象とした動物介在教育 (2018～2019年)</li> <li>● 高齢者施設における動物介在活動 (2018～2019年)</li> <li>● 訪問活動犬適性試験の開催 (2018～2019年)</li> <li>● 動物介在教育、活動勉強会の開催 (2018～2019年)</li> </ul>		
今 年 度 予 算 額	235900円	昨 年 度 決 算 額	214309円
条例第2条第3項に掲げる要件について	すべて満たしている ・ 一部または全部満たしていない		
市からの他の補助金等の有無	有(補助金等の名称: ) ・ 無		

一宮市市民活動支援事業に係る計画書

<p>団体名</p>	<p>一宮AAEドッグスクラブ</p>
<p>事業の名称</p>	<p>動物介在教育・動物介在活動</p>
<p>事業の内容</p>	<p>(1) 実施期間（準備期間や後処理期間も含めてください） 2019年 4月 1日 ～ 2020年 3月 31日</p> <p>(2) 実施場所 団体事務所、市内幼稚園・小学校、高齢者・障がい者福祉施設等</p> <p>(3) 受益対象者 市内幼稚園・小学校の児童、市内高齢者福祉施設・障がい者支援施設の利用者</p> <p>(4) 実施体制 訪問活動犬とその管理者（ハンドラー）のチームで施設を訪問。活動の補助をする人（サポーター）も一緒に訪問しています。 活動犬12頭、ハンドラー10人、サポーター9人が活動しています。</p> <p>(5) 具体的な内容 <u>動物介在教育</u>： ご依頼頂いた教育施設を訪問し、対象となる児童の年齢や教育目的に沿った授業内容を提案、企画、実行しています。「犬と読書会」という企画では、個室のような落ち着いた環境にて、子供が犬を聞き手に音読みを練習します。人前で本を音読することは恥ずかしい、苦手、という児童も、犬と一緒に床にくつろいで本読みを練習するという楽しい機会を得ることで、音読に自信を持ち、読書を好きになる事を目標としています。</p> <p><u>動物介在活動</u>： ご依頼頂いた高齢者福祉施設、障がい者支援施設を訪問し、施設が望まれる内容のレクリエーション活動を実施しています。一回の訪問は約45分、利用者と動物とのふれあいを中心とした内容となっています。</p> <p><u>セラピードッグ適性試験</u>： 年4回、外部有資格試験官を招き12項目からなる評価試験を実施、適切にトレーニングされ、安定した気質の健康な犬の選出とハンドラー（飼い主）のペアを認定しています。</p> <p><u>セミナー</u>： 市内の動物病院より外部講師を招き（講師：伊藤美奈子先生）、 1. セラピードッグの健康と衛生に必須となる日々のグルーミングについて 2. 人獣共通感染症の種類と危険性、感染の予防方法について学びます。</p>

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4（片面印刷）とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

<p>事業のふりかえりとその生かし方</p>	<p>活動中の犬達のストレスについて調査しました。活動中の犬の唾液を採取し、コルチゾール数値を測定し、平常時の数値と比較しました。ビデオも同時に撮影し、行動観察を通してストレスサインのデータを分析しました。活動中の犬達は活動中ストレスを受けていないという結果が導かれました。クラブで導入している活動犬の福祉配慮アプローチが、有効であると考えます。今後は当クラブでの活動犬に対する福祉配慮の具体例を他団体の活動に役立てて頂けるよう関連する学会にて発表していきたいと思えます。</p>	
<p>当該事業を実施する理由</p> <p>※目指す地域・社会像や、事業を実施することにより、どのような課題が解決され、どのように目指す地域・社会に近づくか等を記載してください。</p>	<p><u>目指している地域や社会</u>  超高齢化社会において高齢者が不安を感じない快適な生活ができること。年齢や性別、国籍や人種、互いの違いと命の大切さを知る子供が育ち、人・動物・自然が共生できる社会が形成されること。</p> <p><u>目指している地域・社会と申請事業との関係（事業の目的）</u>  増加する福祉施設数に伴い、そこで暮らす高齢者の情緒的な安定とQOLの向上も今まで以上に対応が求められています。衛生・飼育管理の問題から高齢者施設では動物の飼育が難しく、入居時にペットを手放さざるをえない方もいらっしゃいます。適切な教育を受け、人畜共通感染症等検査を受け、清潔に管理されている訪問活動犬であれば、効果的にかつ安全に施設を訪問し、自宅で暮らしているような環境の実現に貢献できると考えます。また、心拍数、血圧の低下、ストレスの軽減等、動物が人間の健康に与える影響も科学的に立証されています。</p> <p>いじめや不登校、問題行動等が全国的に社会問題となっており、解決を図るため、文部科学省も児童生徒の問題行動対策重点プログラム「命を大切に教育」の充実を推進しています。伴侶動物とのふれあいが、子供の道徳的、精神的、人格的な成長を促し、教育機関においては社会性、学習効果の向上が IAHAIO 国際会議において報告されています。清潔で安全な活動犬は教育現場において命の大切さや思いやりの心を育てる生きた教材となります。</p>	
<p>費用負担について</p> <p>※受益者負担が求められるかどうか、公金で実施する理由などを記載してください。</p>	<p>動物介在活動において、受益者には社会的弱者が多いため、受益者負担のみで本事業を成り立たせることは困難。活動は一般家庭で飼育されている犬とその飼い主によって実施されており、糞を行い清潔に管理する事により福祉や教育現場で共に社会に貢献できる、という動物愛護と社会福祉の普及啓発に役立ち、公益性が高い事業であると考えます。</p>	
<p>事業スケジュール</p>	<p>時期（月）</p> <p>4月上旬</p> <p>4月中旬 ～ 3月末</p>	<p>内 容</p> <p>年間スケジュールを決定し、各施設のご依頼内容に沿って企画を立案</p> <p>活動の実施（毎月第2・3週の水曜日は定期活動日）</p> <p>7月の第3週、8月、9月の第1週は活動休止</p>

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4（片面印刷）とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

一宮市市民活動支援事業に係る収支予算書

団 体 名 一宮AAEドッグスクラブ

事業の名称 動物介在教育・動物介在活動

収入

科 目	金額（円）	内 訳
一宮市支援金	157266	
事業収入		
自主財源	78634	<input checked="" type="checkbox"/> 会費収入・寄付収入より <input type="checkbox"/> 他事業の収入より <input type="checkbox"/> その他（ ）
計	235900	

支出

科 目	金額（円）	左記のうち 支援金算出額（円）
報償費	30000	30000
旅費	48000	48000
印刷製本、消耗品費	128000	128000
食糧費	3000	3000
通信費、手数料	26900	26900
備品費		
人件費		
使用料、賃借料		
その他		
計	235900	235900

支出科目の内訳

科 目	金額 (円)	内 訳※1
	支援金算出額 (円)	
報償費	30000	講師謝礼、「セラピードッグの衛生／グルーミング」「人獣共通感染症と予防」認定動物看護師
	30000	
旅費	48000	事務所から活動現場までの往復交通費：会場視察・打ち合わせを含む：48000円 20円/km x 40km (20km 往復) x 10 か月 x 車 6 台
	48000	
印刷製本、 消耗品費	128000	文具・活動現場掃除・除菌剤、ブルーシート・他：40000円 教材作成・製本・コピー費用 40000円 活動先へ提示する活動動物安全診断証明書作成費、人畜共通感染症検査費等 4000円 x 12 頭=48000円
	128000	
食糧費	3000	外部講師の弁当・飲み物代等 1500円 x 2=3000
	3000	
通信費、 手数料	26900	検体郵送料 (クール便) 1200円 x 12 頭=14400 資料郵送料・切手はがき代 3000円 ボランティア保険 150円 x 30 名=4500円 イベント保険 50円 x 50 名 x 2 回=5000円
	26900	
備品費※2		
人件費		
使用料、 賃借料		
その他		

※1 一部が「支援金算出額」となる場合は、その該当分のみを ( ) 書きで再掲してください。

例) スタッフ費用 @1,000円 x 5h x 2人=10,000円 (@900円 x 5h x 2人=9,000円)

※2 備品費を計上する場合は、内訳欄に購入理由も記載してください。